

2024年9月上旬発売予定

内藤礼

展覧会 公式図録

生まれておいで 生きておいで

A4判変型/148ページ/ソフトカバー 定価: 本体3500円(税別)

写真: 畠山直哉、高橋健治 デザイン: 木村稔将

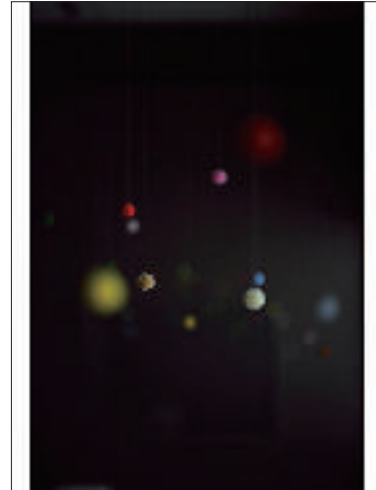
執筆: 内藤礼

鬼頭智美 (東京国立博物館上席研究員)

三本松倫代 (神奈川県立近代美術館主任研究員)

品川欣也 (東京国立博物館主任研究員)

美術家・内藤礼 地上に生きる祝福

NHK日曜美術館
8/25(日) 特集放送!

150年の歴史を持つ東京国立博物館(東博)で開催の展覧会「内藤礼 生まれておいで 生きておいで」は、東博の収蔵品、その建築空間と内藤との出会いから始まりました。

1万年という時を超え、内藤は縄文時代の土製品に自らの創造と重なる人間のところを見出しました。

それは、自然・命への畏れと祈りから生まれたものであり、作家はそこに「生の内と外を貫く慈悲」を感じたといいます。

生の求めに迫られて作りだされた一つ一つの土製品は、人間本来の姿を私たちに伝えるようです。

自然光に照らし出される展示室では、かつて太陽とともにあった生と死を、人と動植物、

人と自然のあわいに起こる親密な協和を、そっと浮かび上がらせます。

図録を兼ねた本書は、時空を超えた交感がなされる東博の3つの会場を、畠山直哉が撮影し、会場を巡るように構成されました。

また内藤の3篇の詩とあわせ、研究員・学芸員による3本のテキストにより、展覧会や作品への理解、考古について、

より深く読み解くことができます。色彩に生を、風景に物語を、光に祈りを見出す内藤の作品は、

縷々として尽きることなく私たちの世界を満たしてきた、遥か遠い時代から続く創造の営みを想起させます。

そこには、人間が繰り返してきた「つくる」ということ、今につながる「生きる」ということへの希求が垣間見られます。

原始この地上で生きた人々と、現代を生きる私たちに通ずる創造の力を感じられる一冊となりました。



展覧会

「内藤礼 生まれておいで 生きておいで」
会場: 東京国立博物館 平成館企画展示室 ほか
会期: 2024年6月25日 - 9月23日

連携企画

「内藤礼 生まれておいで 生きておいで」
会場: 銀座メゾンエルメス フォーラム
会期: 2024年9月7日 - 2025年1月13日

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	HeHe	www.hehepress.com mail: info@hehepress.com	返品条件付注文扱い 返品了解: ツバメ出版流通 川人
ご注文数	内藤礼 生まれておいで 生きておいで	ISBN978-4-908062-61-2 C0070 定価: 本体3500円(税別)	
	既刊 内藤礼 わたしは生きた	ISBN978-4-908062-59-9 C0070 定価: 本体2800円(税別)	
	既刊 内藤礼 OKU 3刷	ISBN978-4-908062-04-9 C0070 定価: 本体1800円(税別)	
	既刊 内藤礼 うつしあう創造	ISBN978-4-908062-31-5 C0070 定価: 本体5800円(税別)	
ご担当:	様		